

私たちの施設は、「福祉サービス第三者評価」を活用して、利用者サービス向上のために常に努力しています。

「福祉サービス第三者評価」を踏まえたサービス改善計画・実施状況

事業所名		光の家就労ホーム			第三者評価受審年度	令和4年度
項目	評価結果に基づく現状分析 (令和4年度)	改善計画 (令和4年度末時点)	実施状況 (令和4年度末時点)	実施状況 (年度末時点)		
地域に溶け込んだ事業所づくりの一環としても、情報提供に関してさらなる充実を期待する	パンフレットや機関誌などに加え、前年度、事業所を紹介する動画を作成し、視覚的に事業所の特徴を伝えている。またSNSも駆使して、レストランでのメニューなどを写真入りで伝えており、積極的に利用者の活動に関する情報を提供している。事業所としては、さらにパンフレットを充実していきたいと考えている。今後も引き続き、地域に溶け込んだ事業所づくりのため、パンフレットを含む情報ツールのさらなる充実を期待する	地域に溶け込んだ事業所づくりの一環として、日野市障害者人材育成事業に参画し、日野市内の大学(明星大学)の「地域ニーズ開発」の授業にて当事業所の取り組みを紹介する。	10月に日野市にある明星大学の授業で入職1年目の職員による職場紹介を動画を用いて紹介した。紹介後のグループ討議で多くの質問を受け、大学生に近い存在の若手職員による説明が効果的であり、当事業所の情報提供の充実に繋げることができた。			
今後も引き続き、利用者支援の質を高めるために、実践報告会のさらなる充実を期待する	利用者個々の障害特性はさまざまであり、さらに多様な作業内容を提供しているため、職員個々の現場支援力の向上が望まれる。前年度から実践報告会を開催し、職員間でスキルの共有化を図っている。今後も引き続き、利用者支援の質を高めるために、実践報告会のさらなる充実を期待する。	利用者支援の質の向上のため以下の取り組みを行う。 ①支援計画における利用者アセスメントの充実。 ②全職員による実践報告会の実施。	左記の改善計画に基づき以下の取り組みを年度末に実施した。 ①全利用者の再アセスメントを実施し、利用者の強みを生かした支援計画の修正に繋げた。 ②実践報告会にて全職員が仮説に基づく各実践を発表し、昨年度より質の高い内容となった。			
事業所の特徴・特性に合わせたキャリアパスの構築を図り、職員個々のモチベーションアップにつながることを期待される	法人全体で等級・役職ごとの求める人材像や役割を定めている。事業所としては、事業所の特徴・特性に合わせたキャリアパスを構築していきたいと考えている。事業所の特徴・特性に合わせたキャリアパスを構築することで、今後の身に付けるべきスキルや知識を具体化し、職員個々にとってモチベーションアップにつながることを期待される。	事業所の特徴と法人が実施している人事考課制度と連動したキャリアパス制度を構築し年度内に試行的に実施する。	12月に法人内で実施している人事考課制度に合わせて当事業所キャリアパスを構築し全職員に対して試行的に実施した。リーダー層と職員個人が思い描く職員像や課題性を共有化することができ、目指すべき方向を一致することができた。			

※この様式は、「〇〇市障害者日中活動系サービス推進事業補助金交付要綱」等の規定に基づき、利用者の皆様にお知らせするためのものです。

※「項目」は、第三者評価における「さらなる改善が望まれる点」などを参照に、施設が独自に決めています。

※第三者評価の結果は、施設において公表しています。